

校 長		教 頭		
--------	--	--------	--	--

保健 シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
保健	1	2	全	必修	全学科

1. 概要および目標

現代の健康問題や新しい時代の健康のあり方などについて学習することにより、健康的な生活習慣を身に付け、健康に好ましい環境をつくるための知識や能力を高めていく。

2. 成績評価

・定期テスト

学期ごとに期末考査を実施する。(計3回)

・小テスト

授業の中で前時の復習も兼ねて小テストを実施し、学習意欲の向上を図る。

・提出物

学期ごとにノート提出を行う。

長期休暇等においては課題について提出させる。

・授業

授業の出席状況、発問への主体的な姿勢を評価する。

定期テスト	60%	小テスト	20%	授業・提出物	20%
-------	-----	------	-----	--------	-----

3. 使用教科書・教材

- ・教科書 : 大修館書店「現代保健体育」
- ・副教材 : 大修館書店「現代保健ノート」

4. 授業の展開と形態

HRクラス単位の一斉授業

5. 学習方法

- ・年度初めに保健学習についてのオリエンテーションを行う。
- ・授業は進度表に従って行き、適宜課題や小テストを実施して学習内容の徹底をはかる。
- ・授業は講義形式だけではなく、学習内容に応じてロールプレイング、ディスカッション、ディベート、実習等も適宜活用していく。

6. その他(履修上の注意)

成績評価は、定期テスト、小テスト、提出物、授業態度等を重点に見ていくが、勤怠状況のひどい生徒については、厳重に対応していく。

学習計画（保健2年）

月	単元	学習目標・学習内容	時
	2単元 生涯を通じる健康		
4	1 思春期と健康	・思春期の行動面、心理面が説明できるようになる。	2
5	2 性意識と性行動の選択	・性に関する情報が性行動の選択に及ぼす影響について説明できるようにする。	2
6	3 結婚生活と健康	・結婚生活について、心身の発達の観点から説明できるようにする。	2
7	4 妊娠・出産と健康	・妊娠・出産期の健康のための留意すべき点をあげられるようになる。	2
	5 家族計画と人工妊娠中絶	・家族計画の意義・避妊法を選択する際の留意点を男女それぞれの立場からあげられるようになる。 ・人工妊娠中絶について説明できるようになる。	3
9	6 加齢と健康	・加齢にともなう心身の変化について説明できるようになる。	2
10	7 高齢者のための社会的とりくみ	・高齢者社会に対応した、総合的対策の必要性を説明することができるようになる。	2
11	8 保健制度とその活用	・病気の予防や健康の保持増進のために、さまざまなしくみがあり、そのような保健に関する活動がなされ、また、どのような保健サービスが行われているのかを理解する。	1
12	9 医療制度とその活用	・わが国では、さまざまな医療制度が整備されており、その医療制度の特徴はどのようなところなのか。医療サービスを活用するためにはどのようなことに留意するとよいか説明できるようになる。	1
	10 医薬品と健康	・医薬品を正しく使用するにはどのようなことか、使用の際にはどのようなことに留意するとよいか理解する。	1
	11 さまざまな保健活動や対策	・国や世界では、人々の健康の保持増進を図るためにどのような活動や対策が行われているか説明できるようになる。	2
	3単元 社会生活と健康		
	1 大気汚染と健康	・大気汚染と健康について説明できるようになる。	2
	2 水質汚濁・土壌汚染と健康	・水や土も私たちの生命維持や健康にとって重要なものである。水質汚濁や土壌汚染はどのようにして起こるのか、それらによって生じる健康被害にはどのようなものがあるか説明できるようになる。	2
	3 健康被害の防止と環境対策	・環境汚染による対策について社会ではどのような対策がとられ、また、私たちにできることは何なのかを説明できるようになる。	2

1	4 環境衛生活動のしくみと働き	・環境衛生活動のしくみや働きは、どのようになっているのか理解できるようになる。	2
2	5 食品衛生活動のしくみと働き	・食品が製造されてから私たちの元に届く間に、どのように安全性の確保が行われているのか説明できるようになる。	2
3	6 食品と環境の保健と私たち	・安全な食品を確保する取り組み、そして環境を汚染しない取り組みは私たちの健康被害の危険性を減らすために重要な対策です。そのために私たち自身にはどのような役割が求められているか理解する。	2
	7 働くことと健康	・働くことは生活の糧を得るためにとっても大切なことであり、自分自身の能力や可能性を広げることにもつながっていく。一方で、健康を損なう可能性もある。その原因や対処法について理解する。	1
	8 労働災害と健康	・労働災害を防ぐためにはどのような対策があるのか説明できるようになる。	1
	9 健康的な職業生活	・心身ともに健康な状態で働くためには労働災害の防止対策だけでなく、より積極的に心と体の健康づくりに取り組むことが必要である。そうした取り組みや余暇の活用のしかたについて理解する。	1
	* 1年間のまとめ	・1年間のまとめをおこなう。(自己評価など)	